

【(2) 乳用牛】

- ① 飼養頭数（令和6年2月1日現在）
 - ・ 総飼養頭数 12,000頭（前年比 93.8%）
 - ・ 経産牛頭数 8,530頭（前年比 96.1%）
全国シェア1.1%（第14位）

【動向】 経産牛頭数：昭和60年（15,900頭）をピークに年々減少
令和6年はピーク時に比べて、約7,340頭減少
- ② 飼養戸数（令和6年2月1日現在）
 - ・ 飼養戸数 131戸（前年比 94.9%）

【動向】 飼養戸数：昭和60年（1,060戸）をピークに年々減少
令和6年はピーク時に比べて、約930戸減少
- ③ 飼養規模（令和6年2月1日現在）
 - ・ 1戸当たり飼養頭数 91.6頭（対前年比 98.7%）

【動向】 1戸当たり飼養頭数は増加傾向
- ④ 県内で酪農が盛んな地域（令和6年2月1日現在）
 - ・ 経産牛頭数 大隅(肝属)地区 2,148頭（県内シェア 25.2%）
種子島地区 1,420頭（県内シェア 16.6%）
- ⑤ 出荷動向（令和5年度）
 - ・ 生乳生産量 74,882t（前年比 96.9%）
 - ・ 受託販売乳量 63,865t（前年比 84.5%）※県酪農協取扱分
 - ・ 搾乳牛1頭当たり乳量 8,840kg（対前年比 94.3%）

【動向】 生乳生産量（受託販売乳量）：減少
搾乳牛1頭当たり乳量：減少傾向（305日換算乳量）
- ⑥ 流通動向（令和5年度）
 - ・ 乳業工場数 生乳処理工場 2ヶ所（薩摩川内市，鹿屋市）
 - ・ 県内生乳処理量 21,889 t（牛乳等向け14,916t，乳製品向け6,973t）
 - ・ 県内生産量のうち約7割は，県外工場処理
- ⑦ 酪農経営の収益性
 - ・ 令和5年度の生乳取引価格は，令和4年11月の期中改定に引き続き，令和5年8月より飲用向け（学校給食用牛乳向け含む）及びはっ酵乳向け乳価が10円/kg引き上げ
 - ・ 副産物収入である交雑種（F1）価格は，R5年94,892円/頭（対前年比 70%），乳用雄（ヌレ子）価格は，R5年50,602円/頭（対前年比 72%）

出典：①②③農林水産省「畜産統計」，④鹿児島県畜産課調べ，⑤⑥農林水産省「牛乳乳製品統計」及び乳用牛群検定全国協議会「乳用牛群能力検定成績」，⑦農畜産業振興機構「肉用子牛取引状況」

